

令和2年度（第2回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和2年11月6日（金）
10：30～11：20
場 所：北九州市役所本庁舎（5階）
プレゼンルーム

1 事業内容説明について

- (1) 対象事業：【事前評価1】小倉北特別支援学校等整備事業
- (2) 事業担当課：教育委員会 総務部 企画調整課

～事業課より資料5に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料7に基づき説明～

3 質疑応答について

○構成員

説明を受けまして、特に疑問に思っていることはございません。必要なことだと思います。

それから公共事業調整会議、庁内での会議でのコメントと言いますか、跡地利用のこと、それから生徒数の増減を踏まえた柔軟な設計が必要だろうということにつきましても、全くその通りだと思いますので、是非、その方向で検討いただきたいと思っています。

ちょっと気になったのが、事業の必要性というよりは、事業の目標のところの設定の仕方。目標2と目標3に就業率というのを数字として数値目標に挙げているのですが、これはたぶん学校教育の内容についての目標としたら理解できるのだけれども、学校を造るという施設整備事業としてこの目標を数値として挙げるのはちょっと違うのかなと思います。

むしろ技術を身に付けた子たちを生み出すための施設が造りたいのですよね。となると、そういう施設を整備する。あるいは、それを目標値にするのであれば、技術を身に付けた子が何人生まれるかということが大事で、それを就職といきなり結び付けて、この整備事業として数値目標にするのは少し違和感があります。

学校教育の目標としては、就職率は非常に大事だと思いますが、整備事業の目標として就職率というものを挙げて良いものかということについて、ちょっと私は違和感を感じます。教育というのは、もっとやっぱりベーシックなものだと思いますから、景気の変動だとかそういうものに左右されるものを目標に、教育施設としては目標にすべきではないと思います。

事業の必要性については疑問をもっているものではありません。

●事業課

今、事業の目標のところでは一般就業率の数値を挙げるのはそぐわないとのご指摘をいただきまして、ありがとうございます。

私どもも、この整備を考えるにあたりまして、どのような形でこの目標値を設定するかということで検討させていただきました。先ほど説明をさせていただきましたように、2校の職業教育の充実、卒業後の社会参加と自立に向けたところを支援する施設として、作業学習種をいかに検討し新しい設備投資を行うか、その結果として生み出される数値として一般就業率というような位

置付けをさせていただいた経緯がございます。

ですので、そぐわない部分はありますけれども、私達は卒業後の社会参加と自立、そして社会に貢献できる生徒を育成するということで、この数値設定をさせていただいたということでございます。

○構成員

学校ができてまた10年20年30年、ひょっとすると40年使われる間にまたいろんな環境変化があって、要はどんな職業教育をしなきゃいけないのか、どんどん変わっていくはずなので、今こういう職業教育が必要だから就業率をいくりに設定するということが何年もつ目標かと。

むしろ、そういうことが柔軟にできるハコを造っておくことが目標であるはずで、そういう意味でやっぱり今の説明を受けてもちょっと就業率は違和感があるなというのが正直な感想です。

●事業課

今、私どもの目標値を定めたところの経過をご説明させていただきました。吉武構成員からもご意見いただきましたので、これからまたどういった目標値の設定の仕方が良いのかも含めて、そこは内部で担当課として検討させていただければと思います。

○構成員

事業が必要だということは理解したうえでの話です。

●事業課

事業の必要性、6番のところに掲げていますけれども、作業内容の変更、一般就労の状況ということで、実はやっぱり、今おっしゃったように社会の状況によって職種が変わってくるのはまさに我々も感じていることなので。その向こう側にいわゆる就業率というのがあるので。

○構成員

向こう側にあることはそうですね。

●事業課

積み重ねていくということで、今のご意見は十分反映させていただきたいと思っております。

○座長

就職率というよりは、希望したところに就職できているかというのが、そしてまたそれに対して就労支援が有効に作用しているか、そういう指標というか目標みたいなものを考えていただければと。

○構成員

いろんなところで評価するときアウトカム指標を使うので、これもどっちかというとアウトカムになっているのですが、ことこれに関してはアウトプットで良いのだろうと思っています。

○座長

教育の内容に入ってきますので、そこは中にご検討いただければということでもよろしくお願ひしたい。

○構成員

私もこの目標値のところにに関して疑問がありまして、まず2番3番と言われましたが、私は4番目にもまた疑問があつて。

というのが、敷地面積が削減しますよと、この2校が一緒になることで削減しますよということは分かるのですが、ただし、今、中央高等学園がある所というのはそのまま戸畑高等専修学校が残るということです、例えば北九州、この2校に関してまとまることで削減するという話もあるのだけれど、北九州全体を考えると他の事業がやらなかったことというのを条件としておいておくと、これは純増になるんじゃないのかなと。だから、ここで目標値を定めることが本当に適切なのかなというところが、ちょっと疑問に思います。

もし戸畑専修学校さんの部分がなくなるとかということであれば、こういった書き方も良いのかなと思いますけど、この書きぶりはちょっと誤解を招く可能性もあるのかなと思いますので、少し言葉を付け加えるか何か上手い方法を。なかなか分けるのは難しいと思いますが、そこをちょっとうまくやっていかないと説明にはならないかなということが一点目の疑問に思ったところでございます。

二点目はちょっとコメントになるのですが、市の施設設置義務がないというところで、そう考えるのは自主事業として行っていることだと思います。そうすると、本当に市でやらないといけないのかというと義務がない以上そうではないのかなと。しかしながら27ページにもありましたように、市の関与、なぜやっているのかということでもありましたように、北九州の政策においてやっぱりこの事業は重要なところで定めているよというところで、義務がなくても自主事業でやるんだというメッセージは伝わりますので、この事業を実施することに関しては特段、反対ということではありません。

しかし、せっかく自主事業でやるのだから、このハードもそうですソフト面も今後2校が隣合うというところで、今までのやり方とか、例えば義務があるというところにはたぶん色んな制約なんかもついてくることもあるので、そうじゃない新しいやり方の提案っていうのが、そこに北九州らしさ、やっぱり自主事業でやるんだよというところが、北九州らしさが出るともって良いのかなと思いました。

たぶんこれは今後の話になるのだと思いますけど、基本設計とかですね、やっていくときには是非、教育の内容とかソフト面も考えてどういうハード設備が必要なのかと。また先ほど吉武構成員からもありましたけど、それを考えるには色々フレキシブルに。施設、例えば私達10年後の世の中は大きく変わるとは思いますけど、10年の度に施設整備を変えることは出来ませんので、やはりフレキシブルに対応できるようなハードというのも重要になるかと思っておりますので、この2校が隣合う、一緒になるというときに、今までこうだったからこれ出来ないよねということではなくて、やっぱりここに北九州らしさ、北九州モデルになるような事業にして欲しいなと思っておりますので、この次の段階かと思っておりますが、ぜひそういう視点も入れる、そういう視点が入られる業者の選定ということも重要視して欲しいなと思っております。

●事業課

一点目についての、戸畑高等専修の件ですが、実は後期中等教育のあり方というのを今年度に入って検討を始めまして、私ども市立高等学校があるのですが、それとセットで今後のあり方を検討して、8月に有識者会議のまとめでご意見をいただいております。

その中で今後、戸畑高等専修学校をどうしていくのかという議論がスタートしていますので、今おっしゃったようなこともどうするのかということも含めて、このあたりにも反映はさせていきたいと考えております。

○構成員

今回のこの資料をお聞きしまして、現地も見せていただきまして感じたことなのですが、話を聞いて良いことはたくさん聞いたのですが、悪いことは何が悪いのか、メリットはいっぱい聞くのですがデメリットはないのかなと考えました。何がデメリットになるのかがよくわからなかった中で、

メリットの中に、今後やっぱりパソコンっていうコンピューターが知的障害者でも扱える。これからの若い子は私達よりも素晴らしく、どんどん進んでいますよね。

このボタンを押せば大丈夫という若者の速さは、私達のように年を取るとどこを押せばよかったかと探すぐらいで、子どもたちのパソコンの能力は叶わない部分があります。ですから、知的障害のある子どもでも、パソコンはバリバリに出来ることになるのではないかと考えます。

それぐらいパソコン教育が大事なのではないかという気持ちがありますので、一般小中学校と同じようにパソコンルームも必要ではと考えます。今回はパソコンも入れていただけると良いのではないかと思って、そこだけがデメリットかなと思っております。知的障害者に合わせたソフトを検討して入れていただくことをやっていただきたいと思います。

また、小倉北特別支援学校の学校を出たときに北九州中央高等学園に進学したいというような子どもがいれば、どしどし入れてあげられるようなシステムも作り、北九州独自のそういうシステムが出来ると良いのではないかと思っております。その子供たちの個性を伸ばし、潜在能力を引き出せる学校となるような、環境にできればと感じました。今回はそのいいチャンスと考え学校創りをお願いしたいと思います。

●事業課

パソコン整備は国のG I G Aスクール構想の中でも、今年度中に特別支援学校を含めまして全国整備するようになっております。OSの方は、基本的にiPadを使いますので、汎用性があるようなものを考えて導入するようにしております。ただ、今後、おっしゃってくださったようにそれが子どもたちに活きるのかが課題になってきますので、そのあたりが教員の研修等、外部の方とも連携しながらやっていこうということで詰めをしているところです。

○構成員

私は構成員がおっしゃったところの目標のところ、就職率を入れない方が良いのではないかというお話があったが、雇用する側からすれば、やっぱりこの数値というのはすごく大切です。

しかし教育と言う点からするとこれを全面に出しにくいと思いますが、補足みたいな型で示してあげれば、企業側も分かり易く一般の市民の方も理解しやすいと思う。また将来、親元を離れて就職していくというのが最終的な子どもたちの支援になるわけですから、子どもたちがどれだけ就職していき、独り立ちできるかが、可視化できるので、どういう形にせよ数値は目につくようにしていただければ有難いと思う。

○構成員

私の言わんとするところは、整備事業の評価数字としてははずいだが、学校の目標としては正しいということです。

○構成員

それを感じました。

それと今日、小倉北特別支援学校の中はよく見学させていただきましたが、中央高等学園の方は催し物があって、しっかり見ることが出来ませんでした。でも学校自体は、戸畑の中央高等学園は催し物があったにもかかわらず、生徒の皆さん、ものすごく良い、好印象を受けました。

しかし小倉北特別支援学校の方は本当に先生が付きっきりで、すごく大変な様を見ますと、それ

が一緒になったときに、単純に上手くやっていけるのかというところが気になりました。学校のレイアウトの仕方ひとつで中央高等学園の生徒からすれば、ちょっと落ち着かないというような印象を受けるかもしれないので、一番、そのレイアウトをすごく考えていただいて、やっていただければ嬉しいなど。混在するみたいになってくると（どうなのかなど）。もちろん学校が違うから別なんでしょうけど、そういうふうな印象を受けました。

●事業課

障害の程度がそもそも違いますので、結局、我々も社会にどう彼らが出ていけるかと、そして自立していけるかというのを最終目標にしていますので、重度の子どもでもずっと社会の中で何か役割を担っていけるようにしたいという思いがあって、そしてもう一つは軽度の、中央高等学園の子どもたちも何かそこで交流ができないか。そこで少しでも何か身につけるものはないか。

一方、中央高等学園の子どもたちというのは、さらに技術を求めて一般企業そして、あるいはもっと言うと大学に進学もできるかもしれませんし、いろいろな可能性を持てる夢のある学校ができないかというのを、我々の中では考えています。当然、学校のあり方も違いますので、造り方についてはそういったことも考えています。そういったところでご意見をいただくと非常に助かるなというのが正直なところでございます。

○構成員

私の方からはやはり事業費のところでした、資料6の7ページの複数案の比較とかのところ、現地建替えは14億円安いと提示されているものの、トータル事業費で見ると1億1千万円しか変わらない。

この1億1千万円の違いというのは、用地取得関連費が変わると逆転してしまう可能性がある。幸いにして小倉北特別支援学校は現有地と移転先が近く、3分の1くらいの面積なので取得費の3分の1である4億円ぐらいの金額を売却予定額の数字として載せておいた方が本件実施の優位性を示すことができていると思っています。

また、今日見させていただいた小倉北特別支援学校の現有地での建替えというのは、仮校舎の設置場所等の問題を含めて、実質難しいのではないかと思います。そういったことも、資料だけを見ている方には伝わらないところだと思うので、市民の皆さんにも現有地で建替えるということ、仮校舎で建替えることは困難だという状況をお伝えした方が良いのかなと思ったところです。

○構成員

先生方がおっしゃったのと同意見ですが、建物が40年以上経ち、老朽化しているから建て替えるというのが理由の一つだったと思いますけど、これを建て替えたとしてもまた将来40年後がやってくるわけです。今までの40年と比べると、これからの40年は何がどう変わるか予測しづらいと思いますので、この事業で造った建物が長く役割を果たせるようなものになると良いと思います。予測は難しいのですけれども、それが大事かなと思いました。

○座長

一通り、委員の方からご意見いただきましたけれども、私の方から一点だけ。

移転で小倉北特別支援学校と北九州中央高等学園を併置することなのですが、一応、目的・目標の中に連携を図るということが少し入っているのですけれども、実際に併置する意味というか、連携をどのような形で取るのかというところが、あまり見えてこない。

先ほど就職率の目標値との関係でいろんなご意見がありましたけれども、簡単に言えば、中学クラスから就職はかなり難しいのだと思います、もともと。であるから、やはり中央高等学園の連携というか、そこで生徒が進学できるような体制を取って、結果的に高校レベルで就職率が100%

に近いような形になっていくというような、いわゆる中高一貫に近いような、そういったような考え方をもう少し入れても良いのではないかと考えております。

それが内部評価結果にも出ていまして、定員を柔軟に検討するというのは、そういったことも関係していると思うのです。下からの進学ということも考えながら、それからもともと、知的障害を持った生徒も増えているというのがあります。そういった形で連携を密に取っていただければと考えております。

////////////////////////////////////

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思っております。

基本的には、教室不足・老朽化の解消、就労支援の充実というところがポイントだと思っておりますので、特に大きな反対というのとはなかったのかなと伺っております。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画で進めていくことに対して、ご異議、ご意見等はありませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、当該事業については、この計画どおり進めることを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思っております。

////////////////////////////////////

先ずは、事業目標の設定については、教育内容の目標と公共事業としての目標をきちんと峻別されて、就労支援という非常に本質的なところに沿うような目標をもう少し考えていただきたいというのが一点目になります。

二点目につきましては、本市全体のレベルから見て、敷地面積の削減に関係しているのかどうかというところを、もう一度、説得的にご説明していただきたいという点でございます。

三点目は、現在の情報社会において、情報技術の取得というのはリテラシーを身に付ける上で非常に重要な点ですので、やはりパソコンの整備はきちんと考慮していただきたいということでございます。予算の関係もあるとは思いますが。

それと、新設する校舎については、生徒が教育を受けることに喜びを得られるようなレイアウトに留意していただければということでございます。

それとあと、市民向けに公表されるときには、現有地での建替えが困難であるという、予算だけではなくて、その敷地の形状であるとか、そういったところも少し情報を盛り込んでいただければというところがございます。

それから建替えについては、超長期的な視点からも、フレキシブルに対応できるような基本設計を今後、お願いしたい。

最後に、両校の連携の内容についてももう少し具体的に、併置する意味がわかるようにご検討いただければというところがございます。

このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

もちろん、教室不足、狭あい化、老朽化、それから就労支援の充実、こういったところは基本的な賛成の理由になっているというところがございますので、是非、この事業を行っていただきたいと思っております。

ありがとうございました。なお、具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして、事務局と調整させていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、本日の会議資料及び議事録につきましては、後日、市のホームページに掲載することといたします。議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思います。

それでは、今後の予定につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

ただ今、構成員の皆様にご了承いただきましたとおり、小倉北特別支援学校等整備事業につきましては、現計画のとおり事業を進めさせていただきたいと思っております。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市で対応方針案を決定し、市民意見の募集、パブリックコメントの手続きに入らせていただきます。

また、50億円を超える事業でございますので、基本設計が終わった後に、事前評価2としてお諮りしますので、よろしく申し上げます。